

平成24年2月22日

東日本大震災における広島大学の対応について

第25回学長定例記者会見（平成24年1月30日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できうる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

(1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

- 緊急被ばく医療チームを編成し、福島県へ連続派遣。

3月12日（土）第1班を派遣し、2月21日（火）現在までに37班、延べ1,213名を派遣しています。

基本チーム構成は、医師2名（うち1名は救急医）、診療放射線技師1名、看護師1名、事務職員2名の計6名で、第13班（4月28日出発）以降は一旦、3名体制としましたが、第19班（5月20日出発）から3～11名体制とし、一時帰宅に伴うスクリーニングに対応するとともに、7月からは福島第一原発内に設置の「救急医療室」への救急医の派遣も行っており、11月からは、看護師も順次派遣しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 山根

TEL：082-424-6011

2. ボランティア活動について

- 「広島大学震災復興支援ボランティアOPERATIONつながり」の「つながり隊」第3次隊14人が、2月14日（火）から24日（金）まで、仙台市、岩沼市、名取市、亶理郡亶理町の仮設住宅において傾聴やお手伝い学習支援、交流会の開催などのボランティア活動に従事するとともに、東北大学川内北キャンパスにおいて、学生シンポジウム（今、ぼくたちにできること～広島大学の学生と震災復興を考えよう～）を実施します。交通費（バス借上）や活動経費等（宿泊費の一部補助を含む。）を、「広島大学基金」から支弁予定。

【本件に関するお問い合わせ先】

教育室学生生活支援グループ 龍王

TEL：082-424-6146